

教材・支援機器活用実践事例フォーマット(特別支援学校版)

*この資料は、Webで公開することを前提にしています。生徒の個人情報公開の確認を取るか、個人が特定できないように作成するか、注意してください。

	実践年度	平成28年度
参加 する授 業に ついて	教科名等 (該当する教科名等を選択。 当てはまらない場合はその他 を選択し、次の単元・題材名 の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input checked="" type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	写真を撮ろう、スライドショーをめくろう
	授業の目標	自分の意思で腕を動かすことができる
	観点別学習状況の評価 の観点 (教科の特性により設定した観点 がある場合は「その他」を選択し 記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
	自立活動の要素	<input type="checkbox"/> 「健康の保持」 <input type="checkbox"/> 「心理的な安定」 <input type="checkbox"/> 「人間関係の形成」 <input type="checkbox"/> 「環境の把握」 <input checked="" type="checkbox"/> 「身体の動き」 <input checked="" type="checkbox"/> 「コミュニケーション」
学習 (集 団)の 実態	学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 <input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 中学部 3年 一人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input type="checkbox"/> 知的障害 <input checked="" type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習 障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
子ども の実 態	子どもの課題(特性・ ニーズ)	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 書く <input checked="" type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケー ション <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 <input type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> 時間的・空間的・人的交流の制約 <input type="checkbox"/> その他 腕や指を自分で自由に動かすことができないので、少しでも自分の意思で動かせる練習がしたい
ICT活 用に ついて	使用した支援機器・教 材の名称 (使用した支援機器・教材の 名称を記載。なお、特定の製 品に特化した実践の場合は製 品名を記載。)	①iPadのカメラ機能とスイッチ ②WindowsPCのパワーポイントとスイッチ
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援)B活動支援(<input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援)C学習支援(<input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ①好きな場面の写真を撮ることができる。 ②パワーポイントのスライドショーを自分でめくることができる。
	活用方法	①iPadのカメラ機能をiPadタッチャーとスイッチを使うことで、iPadの画面に触れずに写真を撮る。 ②パワーポイントで作った職員や生徒の顔写真を、スイッチを押すことでめくる。
効果・ 評価	ICTを活用した授業での 子どもの様子や変容お よび授業の評価	対象の生徒は、玩具に興味関心が薄く、人との関わりが好きなため、ICTを活用して人と関わる工夫をした。 ①言葉かけや、手添えをすることで、好きな職員や友達をスイッチを押すことで、写真を撮ることができた。 ②パワーポイントを使ってスライドショーの写真をめくる時はパソコンに直接スイッチをつなぐことで、マウスをクリック する難しい操作をすることなく、腕を上下させてスイッチを押すことでめくることができた。 どちらも人の顔が出てきたり、会話を通して人との関わりを持つことができ、自分の意思で腕を動かすことができた。
資料	図・写真・表等はこちら へ貼り付けてください。 (生徒の写真は個人情報公開の 確認を取っているものとする。)	①  